

相談に丁寧に対応することでの大切さも学びました。

- ③ フォロー体制について学ばせていただきました。
- ④ 福島・岩手の情報を聞いて良かった(資料もあるとよりわかりやすかったが)
- ⑤ 今後のメンタルヘルスが重要なのにさらに検討は必要だと思います。
- ⑥ 被災の前のトラウマ体験が、被災後の症状や問題の発生に大きく影響するという結果が衝撃的だった。災害対応に限らず、子供のメンタルヘルスの重要性を改めて感じた。
- ⑦ このような調査研究はとても大事なことです。携われた先生方に敬意を表するものです。子どもたちの心身ともに健やかな成長を望み、今後も長期的にご活躍されますことを願ってやみません。(よくわからない義援金の使われかた、このような分野にいかされるとよいのではないのでしょうか)
- ⑧ 自分が面接などでお手伝いしている研究が、どのような結果になっているのかを全体的なことを知ることができ、良かったです。また、増子先生や八木先生など各地域での取り組みや現状が知れて勉強になりました。保護者のPTSD症状があると、子のレジリエンスが低いとのことで、親のケアが必要なこともわかり、子どもだけでなく親への支援もさらに必要になっていくと思うので、その辺の対策などが気になりました。
- ⑨ 調査の対象の代表性を含め疫学としての課題があると思いますが、大変貴重なデータと思いました。
- ⑩ 震災から5年たち、おちついていこうと行政的判断を下されてしまい、遷延化、慢性化する可能性は専門家の過剰な心配と取られてしまい歯がゆい気持ちを持つことが多いです。
- ⑪ 問題がない＝大丈夫ではないのだということを行政職の方にもわかってもらうための根拠、追い風がほしいです。
- ⑫ 実は今回、一番このテーマを聞きたく千葉から参りました。様々なデータ、事例についてお話を聞かせていただき、レジリエンスに関してより学んでみたいと思いました。
- ⑬ SDAによる影響は男児に多くみられるなど、心理面のカバーを性別で行えればと思いました。
- ⑭ 震災前のトラウマ体験の有無が大きく影響していること納得しました。宮城県の状況が気仙沼のみだった。実際に宮城県は問題行動の割合は低くなっているのでしょうか？
- ⑮ 速すぎて理解できなかった。症例を聞くとなるほどなと思われた。
- ⑯ 保護者のサポートの重要性、地域とのつながりが子どもたちのメンタルヘルスに大きく関与していることが分かった。行政の立場として、その点を意識して支援にあたりたいと思った。
- ⑰ 職場や相談場に出て来れない人の支援も考えていかなければいけないと改めて感じた。
- ⑱ 中高生の受診が増えてきていることに驚きを感じたため、思春期保健を考える上でも考慮していきたいと思った。
- ⑲ 5歳前後のASDの児の割合が高い印象があります。
- ⑳ 町全体が被災し、家族を失うことも津波を見たことも「あたりまえの経験」となっていること、自分だけが辛いと言えない状況にあることなど、これからもメンタルヘルスに大きく影響していくのではないかと思います。
- ㉑ いまだ一定以上の問題を抱える母子がいること、潜在化している可能性があることを意識しながら、行政においても相談活動を実施していきたいと思います。
- ㉒ 潜在するメンタルヘルスの問題に着目する必要があると感じた。
- ㉓ 目立つ症状を示さない子が増加傾向にあるということで、そういった子への支援について考えさせられました。
- ㉔ とても勉強になりました。私は保健師です。臨床内容がとても勉強になりました。やはり例がないと具体的なイメージや支援につながらないと思いました。
- ㉕ 体罰と子のメンタルヘルスの相関が明らかで眼を開かされました。もっと積極的に一般の方にも知らせたいと感じました。スキンシップ、地域の信頼関係のキーワードも印象的でした。

- ⑳ 今後も引き続きコホート研究を行う必要があると思います。面接という手法はコストや手間がかかると思いますが、国として取り上げる必要がある。

6) 災害時にもお産と地域の未来を守るために (東北大学 菅原 準一先生)

- ① 地域の母子保健担当として、見直すべき課題があると感じました。マニュアルを参考に考えて行きたいと思います。
- ② マニュアル作成などにかかっていることがとても素晴らしいと思います。
- ③ 災害時への妊産婦への情報提供が必要なことや、現状・課題などわかりやすかったです。
- ④ マニュアル作りは必要かつ重要なタスクと思います。
- ⑤ 自治体では災害時の対応についてマニュアル等を作成していますが、妊産婦に特化した対応マニュアルはないので、母子保健の関わっている身として必要性を感じました。職場で共有したいと思います。
- ⑥ 妊婦の方が安全に避難できる場所を子育て支援センター等に設けることで少しでも安心ができるのではないかと感じました。
- ⑦ 周産期医療ネットワークの災害時の役割、とても心強く思いました。
- ⑧ 災害時妊婦情報共有マニュアルが作成中であることを初めて知りました。完成にとっても期待したいと思いました。
- ⑨ 平時からのネットワークの形成と災害時のスムーズな対応が本当に大切で、災害弱者である妊産婦、小児を拾い上げられるよう準備しなければならないと思いました。
- ⑩ 発災時における妊産婦の状況把握と対応の必要性。
- ⑪ 東日本大震災の反省から、今後に向けての対策を具体的に進めている先生を応援しています。今後ともご指導方よろしくお祈りします。
- ⑫ 災害時のお産について具体的な提言とマニュアルが示されよかったです。ご講演の中にありましたが、一般の方向けの完成を期待します。
- ⑬ とても興味深く拝聴しました、こうした仕事をして下さってありがたく感じました。

2. 今後の小児保健に関する研究活動について、ご要望やご意見がございましたらご記入下さい。

- ① 現在、過去の災害の被災規模が、その後の人口移動に及ぼす影響の統計分析を実施しています。今回の報告のもとになったデータの多くで、転居の影響が子どもの心理や発達に影響するようですので、我々の扱っている「災害に連動する転居」が、長期的な影響を持つ可能性があることとなります。今後とも本研究の成果および今後の発展に期待したいと思います。
- ② 早期に厳しいところから人を外に出すべきか？あるいはその地域のあり方が厳しくても、地域を変えないようにしたほうが良いのか？
- ③ 来年度以降の継続の必要性
- ④ 一旦区切りとして3月末で終わるということですが、子供たちの成長は終わりがありません。ぜひ続けていただきたいと思います。本日は有意義な時間をありがとうございました。
- ⑤ 今後もこのような機会があればまた参加したいと思います。大変勉強になりました。
- ⑥ 今回のような機会が長く継続していただけるように願っております。
- ⑦ 今回は、普段なかなか知ることのできない最前線の研究について多くのお話を聞かせていただく貴重な機会をいただき、ありがとうございました。たくさんの知識を得るとともに、気づきもありました。また機会がありましたらぜひ拝聴したいです。

- ⑧ 震災後に生まれた子の状況について
- ⑨ 思春期になったときの影響について
- ⑩ 様々な問題が浮き彫りになっている。もうすぐ5年目であるが、今抱えている問題を参考にして今後の対策を考えていきたいです。
- ⑪ 心の問題は潜在的なケースが潜伏して結局常態化していくのかと思うと大変なことだと感じる。
- ⑫ 発表スライドが欲しかったです。
- ⑬ 取材の方が隣に座っていたのですが、スライド写真を撮る以外は携帯をいじっており、聴講に集中しづらかったです。次回、取材者席を別に設けてはいかがでしょうか。
- ⑭ コホート研究の今後の経緯を知りたい。
- ⑮ 八木先生の発表が大変ためになりました。ありがとうございました。
- ⑯ 興味深い内容でした。ありがとうございました。
- ⑰ 震災の影響があることがとてもよくわかりました。今後も継続的な研究とさらに支援の方に重点をおいて補助金が出てほしいです。
- ⑱ 子どもに関わる行政職員が人員不足で疲弊しています。具体的な内容を検討するために、例えば子ども家庭センター、保健センターの発表も加われば良いと思います。研究ができる余裕がないかもしれませんが。
- ⑲ 身体発育～よく分析していて、問題点が明確であった。乳幼児健診のデータの結果はどうであったか(今回 preliminary ということであった)
- ⑳ まともな資料、抄録を作ってほしい。話してる内容、順番、パワーポイントと全くあっていないのでわかりにくい。内容はよかったです。

